

競技注意事項

1 この競技会に適用する規則は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。

2 参加者は、場内では競技中を除いてADカードを身につけておくこと。

3 招集について

(1) 選手招集所は、第1ゲートに設け、下表の招集時刻にしたがい点呼をおこなう。

招集時刻	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	25分前	45分前
完了時刻	15分前	35分前

(2) 場所及び手順

[トラック競技] プログラムの競技日程の招集開始時刻に第一ゲートにおいて競技者係の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード [右腰につける] とスパイクピンなどの確認）を受ける。

[フィールド競技] プログラム記載の招集完了時刻までに、第1ゲート付近競技場外側の集合場所において競技者係の点呼を受け、その後、一斉に入場してフィールド競技審判員による点呼（アスリートビブスとスパイクピンなどの確認）を受ける。

(3) 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイクなどの確認）を受けておくこと。その場合に限り招集時刻の点呼に代理を認める。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。

(6) 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。1500m、3000m、5000m、5000mW、男子3000mSCは、招集時、競技者係から配られる。

(7) 競技に規定外シューズ（厚底）を使用する選手は、規定外シューズ使用届を競技者係に提出する。規定外シューズ使用届は競技者係で配付する。

4 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。

5 トラック競技100m～800mまでの競技はタイムレースで予選をおこない上位8名で決勝を実施する。この時、8番目で同記録(1/1000秒)の場合、本人または代理人の抽選により決勝出場者を決定する。1500m以上の競技で同記録があった場合は同順位とする。

6 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技において、3回目までの試技で同記録が生じTOP8が決められない場合は、8名の選手に同記録の選手を加えて4回目以降の試技を実施する。

7 リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の2時間前から1時間前までに記録員へ提出すること。
(オーダー用紙は、学校受付時に配付する)

8 やりは、検査を受けて自己のものを使用することができる。

検査場所 玄関ロビー

検査時間 男子 1日目11:15 女子 1日目13:00 男子八種競技・女子七種競技 2日目10:00

競技注意事項

- 9 ウォーミングアップは手柄山中央公園補助競技場を使用すること。占有使用ではないので一般利用者とトラブルがないよう注意すること。全天候トラックでは、逆走と周回、占有して使用することを禁止する。投てき練習は危険防止のため、一切禁止する（競技前に練習時間を設ける）。
- 10 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型スパイクピンの付いたシューズを使用すること。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。
- 11 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。また、バーを破損した場合は、弁償すること。

男子	走高跳	1m50(練習)	1m55-60-65-70-75-80-83-86-89-92	以降3cmきざみ
	棒高跳	1m80(練習)	2m00-20-40-60-80-3m00	以降10cmきざみ
	八種走高跳	1m45(練習)	1m50	以後 3cm
女子	走高跳	1m20(練習)	1m25-30-35-40-45-50-53-56	以降3cmきざみ
	棒高跳	1m80(練習)	2m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90-3m00	以降10cmきざみ
	七種走高跳	1m15(練習)	1m20	以後 3cm
- 12 リザルトの発表は掲示せず、アナウンスによる一部発表とともに、指定のWEBページに掲載する。
(<http://seibanrikujou.gl.xrea.com/>)
- 13 リレー競走については、出場者は同一のユニフォームを着用することを原則とする。
- 14 競技場内およびサブトラックでの日傘の使用は、安全確保の観点から禁止する。